

# CN ニュース～心不全便り～

慢性心不全看護 ニュースレター NO.3 2015年5月10日発行

## 急性心不全

### 心臓ポンプが全身の血液を回収できない、送り出せない

新東京病院、クリニック、ハートクリニックで働く看護師の皆さん、こんにちは！慢性心不全看護の世界を皆さんと共有する心不全便り第3号です。新入職の方にもぜひ読んでいただきたいと思えます。よろしくお願ひします！



今回のテーマは、**急性心不全**です。

もともと心臓は様々なストレスや負荷がかかった時、十分な心拍出量を保とうと代償機構を働かせます。心臓の病気があっても、何とか症状が出ないように神経やホルモンなどの代償機構が働くのです。ところが代償機構が追いつかなくなると、うっ血や心拍出量の低下を来し、心不全症状が出現します。

急性心不全は、慢性的に心不全状態となっている人が急性増悪した場合にも起こりますし、心筋梗塞などのように急に心臓病を発症したことで起こることもあります。軽症のケースもあります

が、短時間で急激に重症化する可能性があり、心停止や心原性ショックに陥ることもあります。

心臓のポンプ機能が低下すると、全身に血液をめぐる事が難しくなり、体に水分がたまります。左心の血液を受け取る力が減少すると肺に水分がたまり、息苦しさなどの症状が出現します。さらに右心が全身の血液を回収できなくなれば、下肢の浮腫などを来たします。血液を全身に送り出す力が減少すれば、疲れやすい、食欲がないなどの症状が出現します。



図① 急性左心不全の患者像

急性心不全の症状には、身体に血液がたまることによって起こる症状と、身体に血液が巡らずに起こる症状とがあるのですね。



図② うっ血性心不全の患者像

#### ☆急性心不全の症状・徴候☆

##### ・うっ血によるもの

左心不全：

労作時の息切れ・動悸  
夜間発作性呼吸困難、喘鳴  
起座呼吸、ピンク色泡沫状痰

右心不全：

食欲不振、便秘、悪心・嘔吐  
腹部膨満感、下腿・大腿浮腫  
体重増加、右季肋部痛  
肝腫大、頸静脈怒張

##### ・低心拍出量によるもの

易疲労感、チアノーゼ  
四肢冷感、集中力低下  
意識障害、低血圧

\* 図①②は循環器ナーシング  
医学出版 2015 Vol.5 No.3より  
引用しました。